

クラウド化によるセキュリティ要件変更 に素早く対応。メールセキュリティ管理 の全社一元化で内部統制強化を実現

ICTソリューションをワンストップで提供する日興通信では、可用性向上やBCP対策の一環として業務アプリケーションの一部をMicrosoft 365を活用してクラウド化した。同社では、Microsoft 365との連携が可能なクラウド対応型セキュリティソリューションを導入し、メールセキュリティ管理を一元化。グループ会社間で発生していたセキュリティポリシーの差異や手作業による添付ファイルの暗号化作業を解消し、より堅固で効率的なセキュリティ管理体制を構築した。



課題

メールシステムをクラウド化したため、それまで利用していたオンプレミス型の添付ファイル自動暗号化ツールが使えなくなった

最低限の工数で早急に新たなメールセキュリティソリューションを導入する必要があった

暫定運用でユーザー社員が添付ファイルを手作業で暗号化しており、余分な工数が掛かっていた

効果

クラウドサービスの導入で添付ファイルの暗号化設定およびパスワード強度などが情報システム部で一元管理できるようになった

スムーズなMicrosoft 365との連携により約1ヶ月の短期間で導入できた

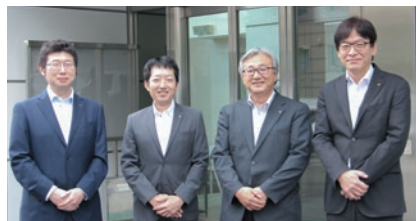
ファイル添付操作のみで自動暗号化/パスワード設定がされ余分な工数が削減された

<お客さまプロフィール>



1947年、戦後日本の復興に寄与したいとの創業者の思いから日興通信の社名で創業。「お客さまのベストパートナー」として「お客さまとともに歩む」ことをモットーに、パッケージ販売からシステム開発、保守・運用までICTソリューションをワンストップで提供しています。

お話を伺った方



(写真左から、池田様、三上様、金子様、森様)

- 執行役員 技術副統括 情報システム部長 金子 征文様
- 情報システム部 情報システム課長 池田 修一様
- 執行役員 事業推進部長 森 幸隆様
- 事業推進部 課長 三上 悟様

導入前の課題と背景

クラウド化によって自動暗号化
アプライアンスが使用不可に

Microsoft 365を導入し、業務系アプリケーションの一部をクラウド化されたようですが。「はい。2019年にMicrosoft 365を導入し、それに伴いメールシステムもクラウドへ移行しました。以前はオンプレミスのメールサーバーを運用しており、その際にはメール添付ファイルの自動暗号化アプライアンスを導入していましたが、クラウド対応していないために、使用できなくなってしまいました。仕方なく手作業で添付ファイルを暗号化しパスワード設定してから送信するという暫定運用を取らざるを得ませんでした」(池田様)

「Microsoft 365導入前は、本社サーバールームにオンプレミスでメールサーバーを立てていたため、システムダウンのリスクや計画停電の影響などを受けて、年間で数日間はメール機能を停止せざるを得ませんでした。BCP対策や働き方改革の推進なども視野に入れてクラウド化を進めるためにMicrosoft 365を導入しましたが、今度は自動暗号化のアプライアンスが使えなくなってしまったというわけです」(金子様)

導入の必然性

必要な機能のみを選択できるフレキシビリティとMicrosoft 365連携による導入の容易さが採択理由

今回「GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウド（以下、GUARDIANWALL MSC）MailConvert on Cloud プレミアム」をお選びいただいた経緯、理由を教えてください。「クラウド移行後に以前と同様のメールセキュリティ環境を構築するためには、クラウド間連携によって実現する必要があります。当社としてその仕組みの構築方法を検討していたところ、キヤノンマーケティングジャパンからGUARDIANWALL MSCを紹介いただきました。これは良さそうだということで、当時まだパイロット版だった同クラウドサービスの実証実験を兼ねて導入しました」(池田様)

「GUARDIANWALL MSCには、『MailFilter』『MailConvert』『MailArchive』の3つのメインソリューションがありそれぞれ必要に応じて選択可能です。メールセキュリティ関連ソリューションで包括的な機能を持つものは多数あるのですが、一部の機能しか使わない場合も多く、結構無駄が発生します。GUARDIANWALL MSCのように必要な機能のみを選択できるとそのような無駄が発生しないので、それがまず1つ評価した点ですね」(金子様)

「事前にデモを拝見したのですが、暗号化するための設定方法など、これなら自分たちでも容易に対応できずぐに運用に入れるなという印象を受けましたので採用する方向で話を進めました。もちろんユーザー社員に対して大きな運用の変更や工数負荷を掛けずに導入できる点も採用理由の1つでした」(池田様)

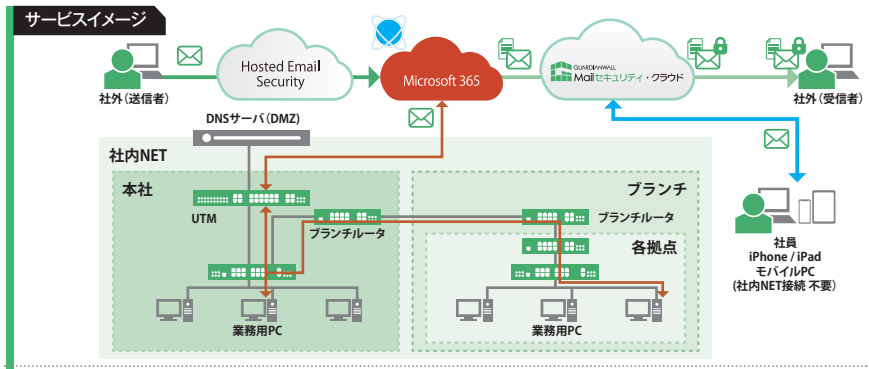
導入時の準備・設定作業は実際にはどのようなものだったのでしょうか。

「今回導入したMailConvertは、GUARDIANWALL MSCとMicrosoft 365とがクラウド上で連携することでメール送信時に添付ファイルを暗号化します。Microsoft 365側とGUARDIANWALL MSC側の設定が必要にはなりますが、Microsoft 365側のメール機能にルールを追加して、特定の条件なら宛先に転送するというようなことができます。GUARDIANWALL MSCではその仕組みを使って、当社のドメインの内部でメールを送信する場合は、必ずGUARDIANWALL MSCを通してから外に出るようにメールの経路設定を行うことで、MailConvertにより自動暗号化しています」(池田様)

取り組みの成果

約1ヶ月で導入完了。
情報システム部でのメールセキュリティ管理一元化を実現

導入はスムーズに進みましたか。
 「実質準備に掛かった期間はすべて含めて1ヶ月程度でした。まず情報システム部内の人間が使えるようにし、その環境でさまざまなパターンをテストしていききました。その結果問題なしと判断し全社運用を開始しました。運用開始時にはDNSの設定やMicrosoft 365の設定、そしてGUARDIANWALL MSCの大きく分けて3つの設定をそれぞれ行う必要があるのですが、作業手順が提供されており、かつパイロット版での実証実験時も似たような設定作業をした経験がありましたので慌てずに落ち着いて準備作業することができました。自動暗号化する手順は、大



きくは以前のオンプレミスのアプライアンスと基本的なところは変わりませんので、運用開始時の社内への落とし込みも「以前との違い」を説明する程度で済み、混乱もほとんどありませんでした」(池田様)

セキュリティ面からの導入効果はいかがでしょうか。

「オンプレミスの自動暗号化アプライアンスを利用していた際は、暗号化する/しないは各ユーザーが設定できたために、暗号化せずに添付ファイルを送信することが可能でした。今回導入したGUARDIANWALL MSCのMailConvertでは、ユーザー社員は特に意識せずに普通にファイルを添付して送信するだけで、原則全件暗号化されます。個人の判断や操作で左右されることがないので、セキュリティが一定以上の基準で保たれ、しかも暗号化するための工数も必要ありません。さらに、パスワードの強度も設定できるので、推測されやすいパスワードを付けてしまうというリスクもありません」(金子様)
 「2020年9月に、当社グループ会社である北海道日興通信のメールシステムもMicrosoft 365に統合しました。それまでは独自のメールシステムのセキュリティポリシーで運用してきましたが、グループ会社も含めて統一したセキュリティポリシーで運用できるようになり、それが内部統制強化にもつながっています」(池田様)

今後のセキュリティ対策や御社の方針などについて教えてください

「現在、MailConvertのみ導入していますが、メールの誤送信を防止するMailFilterの導入を検討したいと思っています」(池田様)

「当社内の動きとしては、2018年頃から『ICT実証実験プロジェクト』を走らせています。毎年5つほどテーマを決めて社内でも実証実験し、実際に自ら試した結果、お客さまにご紹介の方が良いと判断できるソリューションをどんどんご紹介していこうというプロジェクトです。5GやAIなどがテーマに上がっており、セキュリティ領域の実証実験も進めていこうとしています」(金子様)
 「情報セキュリティという面では、2018年に堅牢なエンドポイントセキュリティを含めた多彩なアプリケーション群で構成されている『SuiREN(スイレン)』を社内ネットワークとして導入しました。同ネットワークの社内での実証のノウハウと併せて、SuiRENの中でもお客さまに必要な機能のみをモジュールとして切り出してご提案、ご提供するような活動も続けています」(森様)
 「当社は教育機関も大きなターゲット市場です。近年GIGAスクール構想によって学校でも1人1台端末を配布する方針です。セキュリティ対策も重要になり、ここでも社内でも蓄積したノウハウをお客さまにも提供していこうという方向性に沿って積極的に提案を行っていく予定です。キャノンマーケティングジャパンには、その運用面なども含めた幅広いご提案を期待しています」(三上様)

『SuiREN』とは
 日興通信が独自に構築した、社内ネットワークインフラ「Secure & Innovative Redundant Network(安全で革新的な冗長ネットワーク)」の略称です。SDN、SD-WAN、入口対策、出口対策、内部対策、アクセス制御、NW自動遮断、無線LAN、VPNなどから構成され、SDNとセキュリティを強固に連携しています。

Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

お問い合わせ先

